

(一社)北海道商工会議所連合会
中小企業景況調査報告書

第183回 調査概要

・調査対象期間 : 2026年7～9月期 実績
2026年10～12月期 見通し
・回答数 : 353社
・発行日 : 2026年 10月 23日

今期業況・来期見通し

業況判断DIが前期から改善し、持ち直しの動きがみられる。一方、仕入価格の上昇や深刻な人手不足が続いており、物価高への対応と収益確保が課題となっている。

■主なコメント

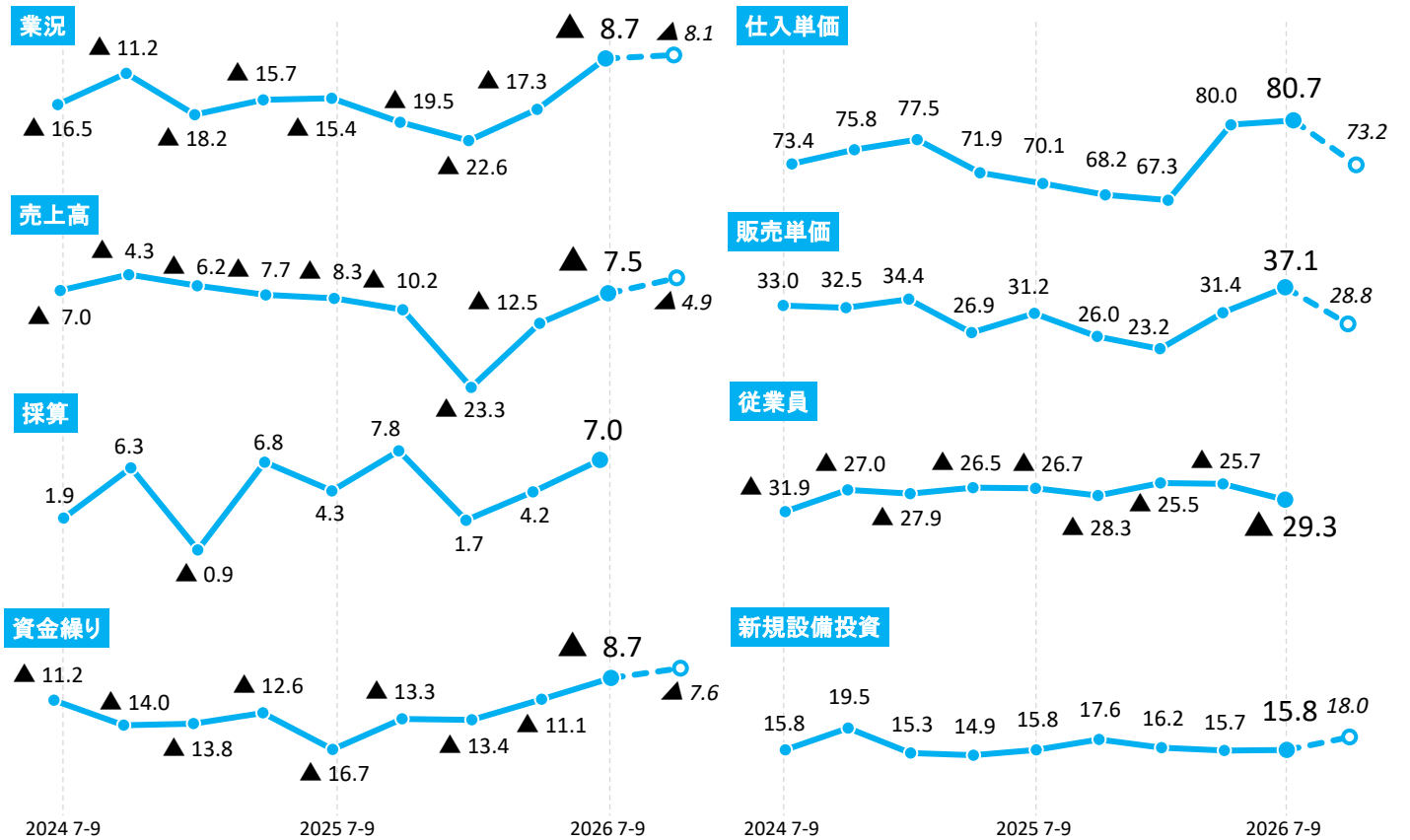
- ・3月以降、原油やナフサ等の調達不安を背景に、取引先から前倒し発注が相次いだ。高騰した原料・副原料の調達を進めたが製品価格の引上げについて取引先の理解を得られたことから、採算は確保できている。(プラスチック製品製造業)
- ・塗料等の資材価格が高騰する中、工事代金の入金は工事完成・引渡し後となるため、工事期間中に発生する材料費や人件費の支払いが資金繰りを圧迫している。(塗装工事業)
- ・若手技術者の採用難や人手不足が深刻化する中、賃金の上昇に加え、原材料・エネルギー価格の高騰による経営コストの増加も続いており、収益の確保と人材育成の両立が重要な経営課題となっている。(ソフトウェア業)

■全産業D・I

	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3	2026 4-6	2026 7-9	2026 10-12(見通)
業況(前年同期比)	▲ 16.5	▲ 11.2	▲ 18.2	▲ 15.7	▲ 15.4	▲ 19.5	▲ 22.6	▲ 17.3	▲ 8.7	▲ 8.1
売上高(前年同期比)	▲ 7.0	▲ 4.3	▲ 6.2	▲ 7.7	▲ 8.3	▲ 10.2	▲ 23.3	▲ 12.5	▲ 7.5	▲ 4.9
採算(今期の経常損益)	1.9	6.3	▲ 0.9	6.8	4.3	7.8	1.7	4.2	7.0	-
資金繰り(前年同期比)	▲ 11.2	▲ 14.0	▲ 13.8	▲ 12.6	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 13.4	▲ 11.1	▲ 8.7	▲ 7.6
仕入単価(前年同期比)	73.4	75.8	77.5	71.9	70.1	68.2	67.3	80.0	80.7	73.2
販売単価(前年同期比)	33.0	32.5	34.4	26.9	31.2	26.0	23.2	31.4	37.1	28.8
従業員(今期の過不足)	▲ 31.9	▲ 27.0	▲ 27.9	▲ 26.5	▲ 26.7	▲ 28.3	▲ 25.5	▲ 25.7	▲ 29.3	-
新規設備投資した割合	15.8	19.5	15.3	14.9	15.8	17.6	16.2	15.7	15.8	18.0

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。

○ 来期見通



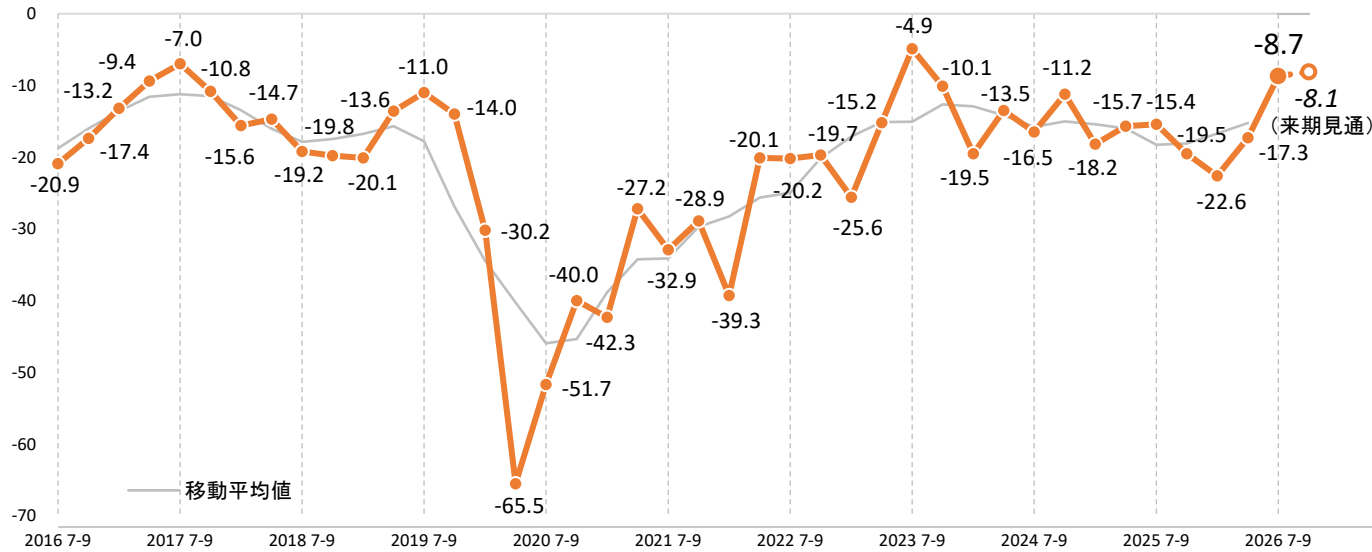
I. 業 況

1. 今期

前年同期比

(2025年7～9月期の水準と比較した今期の業況)

全業種平均D・I 《好転－悪化》



業種別D・I値

今回		内訳				前回
全業種	▲ 8.7	15.5%	60.3%	24.2%		▲ 17.3
製造	▲ 13.8	13.8%	58.6%	27.6%		▲ 31.6
建設	▲ 1.3	20.3%	58.1%	21.6%		▲ 13.1
卸売	▲ 20.0	10.9%	58.2%	30.9%		▲ 16.4
小売	▲ 12.8	14.3%	58.6%	27.1%		▲ 17.9
サービス	4.3	18.1%	68.1%	13.8%		▲ 7.7

■好転 □不変 ■悪化

前期比

(2026年4～6月期の水準と比較した今期の業況)

業種別D・I値

今回		内訳				前回
全業種	▲ 11.4	14.3%	60.0%	25.7%		▲ 15.5
製造	▲ 31.0	6.9%	55.2%	37.9%		▲ 24.5
建設	▲ 1.3	18.1%	62.5%	19.4%		▲ 11.6
卸売	▲ 16.6	13.0%	57.4%	29.6%		▲ 11.5
小売	▲ 10.0	14.3%	61.4%	24.3%		▲ 15.2
サービス	2.2	19.4%	63.4%	17.2%		▲ 14.8

■好転 □不変 ■悪化

今期の水準

(2026年7～9月期の水準)

業種別D・I値

	今回	内訳				前回
全業種	▲ 16.0	15.7%	52.6%		31.7%	▲ 22.5
製造	▲ 32.8	15.5%	36.2%		48.3%	▲ 35.6
建設	▲ 12.3	15.1%	57.5%		27.4%	▲ 14.5
卸売	▲ 16.4	12.7%	58.2%		29.1%	▲ 14.5
小売	▲ 17.2	15.7%	51.4%		32.9%	▲ 32.3
サービス	▲ 1.1	19.6%	59.7%		20.7%	▲ 15.7

良いふつう悪い

■ 良い □ ふつう ■ 悪い

2. 来期

前年同期比

(2025年10～12月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

	今回	内訳				前回	
全業種	▲ 8.1	16.1%		59.7%		24.2%	▲ 19.8
製造	▲ 10.1	15.3%		59.3%		25.4%	▲ 29.3
建設	▲ 2.8	18.3%		60.6%		21.1%	▲ 17.9
卸売	▲ 15.1	17.0%		50.9%		32.1%	▲ 20.4
小売	▲ 15.7	11.4%		61.5%		27.1%	▲ 22.4
サービス	3.3	18.5%		66.3%		15.2%	▲ 8.8

好転不変悪化

■ 好転 □ 不変 ■ 悪化

今期比

(2026年7～9月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

	今回	内訳				前回
全業種	▲ 7.4	15.2%		62.2%	22.6%	▲ 13.4
製造	▲ 12.8	14.5%		58.2%	27.3%	▲ 20.0
建設	▲ 1.4	14.3%		70.0%	15.7%	▲ 20.3
卸売	▲ 15.1	15.1%		54.7%	30.2%	▲ 5.8
小売	▲ 9.1	13.6%		63.7%	22.7%	▲ 15.1
サービス	1.2	18.4%		64.4%	17.2%	▲ 6.0

好転不変悪化

■ 好転 □ 不変 ■ 悪化

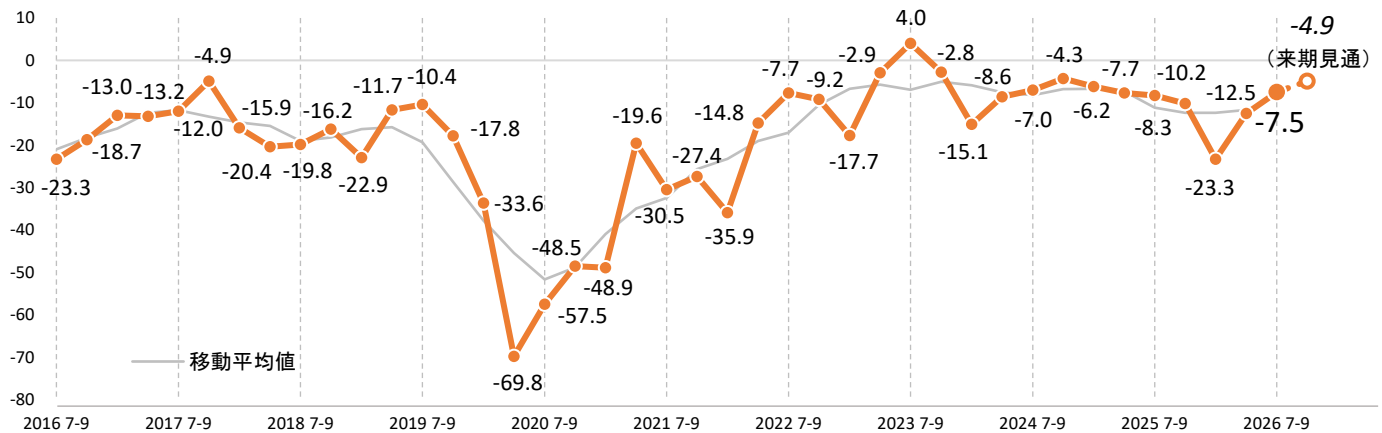
Ⅱ. 売上高

1. 今期

前年同期比

(2025年7～9月期の水準と比較した今期の売上高)

全業種平均D・I ≪増加－減少≫



業種別D・I値

	今回	内訳				前回
全業種	▲ 7.5	26.3%	39.9%		33.8%	▲ 12.5
製造	▲ 10.2	28.8%	32.2%		39.0%	▲ 10.2
建設	▲ 20.6	20.5%	38.4%		41.1%	▲ 28.0
卸売	▲ 16.3	18.2%	47.3%		34.5%	▲ 3.6
小売	2.9	32.9%	37.1%		30.0%	▲ 16.2
サービス	6.4	30.9%	44.6%		24.5%	▲ 4.4

■増加 □不変 ■減少

前期比

(2026年4～6月期の水準と比較した今期の売上高)

業種別D・I値

	今回	内訳				前回
全業種	▲ 4.5	26.9%	41.7%		31.4%	▲ 4.2
製造	▲ 17.0	23.7%	35.6%		40.7%	▲ 6.9
建設	▲ 4.1	26.0%	43.9%		30.1%	▲ 22.1
卸売	5.4	30.9%	43.6%		25.5%	0.0
小売	▲ 1.5	27.5%	43.5%		29.0%	5.9
サービス	▲ 5.3	26.6%	41.5%		31.9%	2.2

■増加 □不変 ■減少

2. 来期

前年同期比

(2025年10～12月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

	今回	内訳				前回
全業種	▲ 4.9	24.0%	47.1%		28.9%	▲ 10.6
製造	▲ 6.8	22.0%	49.2%		28.8%	▲ 10.2
建設	▲ 7.0	20.8%	51.4%		27.8%	▲ 7.5
卸売	▲ 1.8	29.1%	40.0%		30.9%	▲ 18.2
小売	▲ 5.7	24.3%	45.7%		30.0%	▲ 19.2
サービス	▲ 3.3	23.9%	48.9%		27.2%	2.2

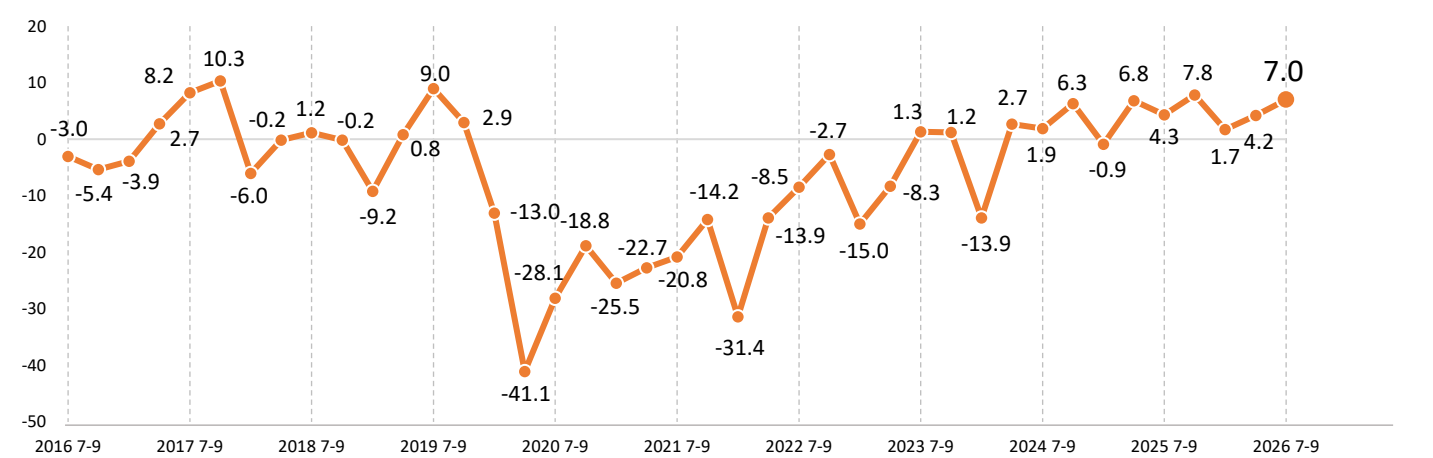
■増加 □不変 ■減少

Ⅲ. 採算(経常利益)

1. 今期

今期の水準	(2026年7～9月期の水準)
-------	-----------------

全業種平均D・I ≪黒字－赤字≫



業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	7.0	27.1%	52.8%	20.1%	4.2
製造	▲ 12.3	19.3%	49.1%	31.6%	▲ 11.8
建設	16.5	28.8%	58.9%	12.3%	14.5
卸売	18.1	34.5%	49.1%	16.4%	23.7
小売	▲ 2.8	24.3%	48.6%	27.1%	▲ 7.6
サービス	15.4	28.6%	58.2%	13.2%	2.2

■黒字 □収支トントン ■赤字

前年同期比	(2025年7～9月期の水準と比較した今期の採算)
-------	---------------------------

業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 19.5	13.2%	54.1%	32.7%	▲ 22.6
製造	▲ 18.6	15.3%	50.8%	33.9%	▲ 39.7
建設	▲ 23.0	13.5%	50.0%	36.5%	▲ 26.1
卸売	▲ 23.6	10.9%	54.6%	34.5%	▲ 20.0
小売	▲ 22.9	11.4%	54.3%	34.3%	▲ 16.4
サービス	▲ 9.6	14.9%	60.6%	24.5%	▲ 11.0

■好転 □不変 ■悪化

2. 来期

前年同期比	(2025年10～12月期の水準と比較した来期の見通し)
-------	------------------------------

業種別D・I値

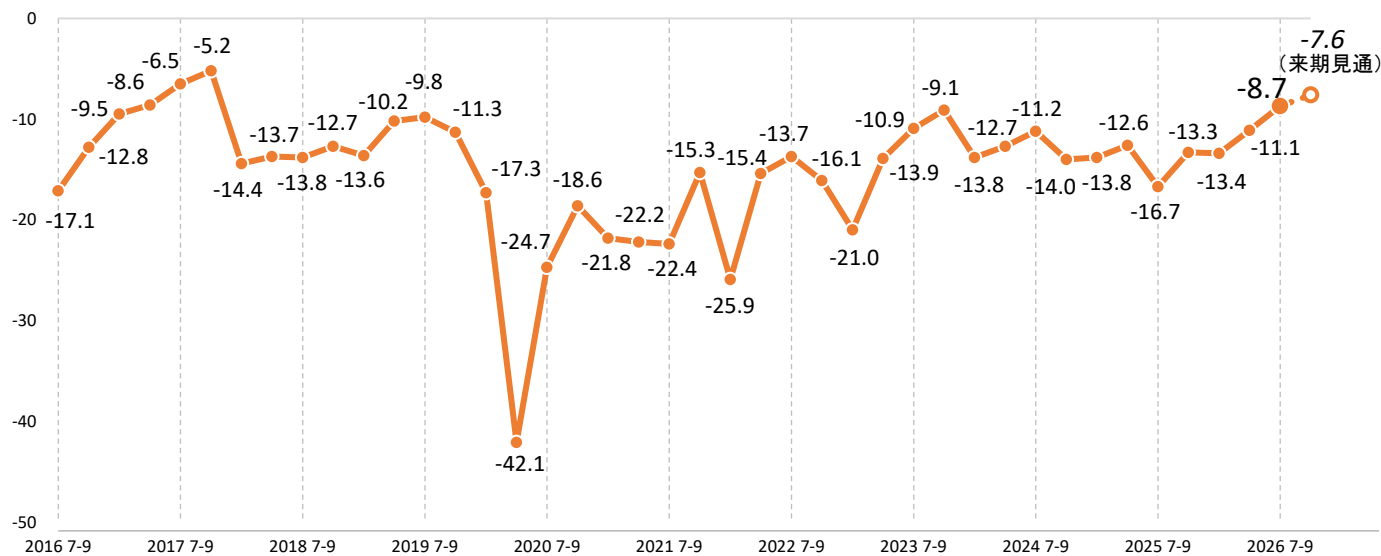
	今回	内訳			前回
全業種	▲ 16.0	13.1%	57.8%	29.1%	▲ 22.2
製造	▲ 17.2	13.8%	55.2%	31.0%	▲ 34.5
建設	▲ 16.5	12.3%	58.9%	28.8%	▲ 25.0
卸売	▲ 18.2	10.9%	60.0%	29.1%	▲ 16.4
小売	▲ 18.6	14.3%	52.8%	32.9%	▲ 19.4
サービス	▲ 9.7	14.0%	62.3%	23.7%	▲ 15.8

■好転 □不変 ■悪化

IV. 資金繰り

1. 今期

前年同期比 (2025年7～9月期の水準と比較した今期の資金繰り)



業種別D・I値

今回		内訳					前回
全業種	▲ 8.7	8.1%		75.1%		16.8%	▲ 11.1
製造	▲ 19.3	1.8%		77.1%		21.1%	▲ 16.7
建設	▲ 12.1	4.1%		79.7%		16.2%	▲ 10.2
卸売	▲ 1.8	13.0%		72.2%		14.8%	▲ 9.2
小売	▲ 7.2	11.6%		69.6%		18.8%	▲ 15.0
サービス	▲ 3.3	10.0%		76.7%		13.3%	▲ 4.6

■好転 □不変 ■悪化

2. 来期

前年同期比 (2025年10～12月期の水準と比較した来期の見通し)

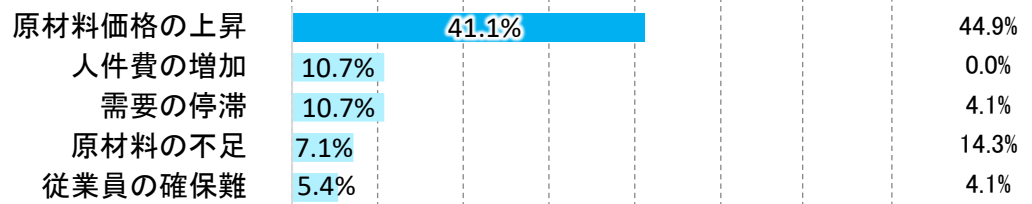
業種別D・I値

今回		内訳					前回
全業種	▲ 7.6	9.3%		73.8%		16.9%	▲ 12.9
製造	▲ 17.6	3.5%		75.4%		21.1%	▲ 21.4
建設	▲ 4.2	6.8%		82.2%		11.0%	▲ 13.2
卸売	▲ 5.5	9.3%		75.9%		14.8%	▲ 13.0
小売	▲ 4.4	13.2%		69.2%		17.6%	▲ 13.5
サービス	▲ 6.7	13.5%		66.3%		20.2%	▲ 3.3

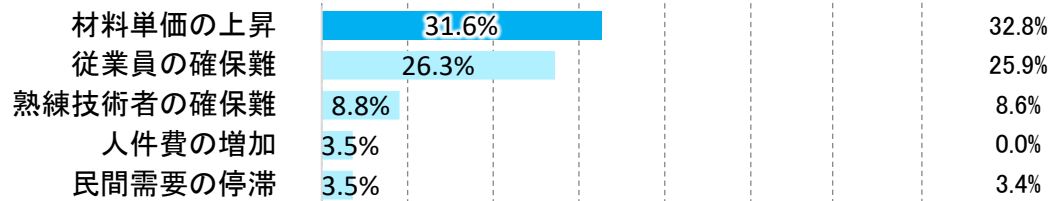
■好転 □不変 ■悪化

V. 経営上の問題点(上位5項目)

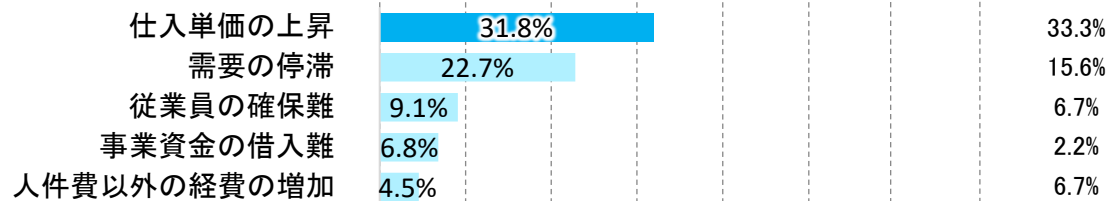
製造業



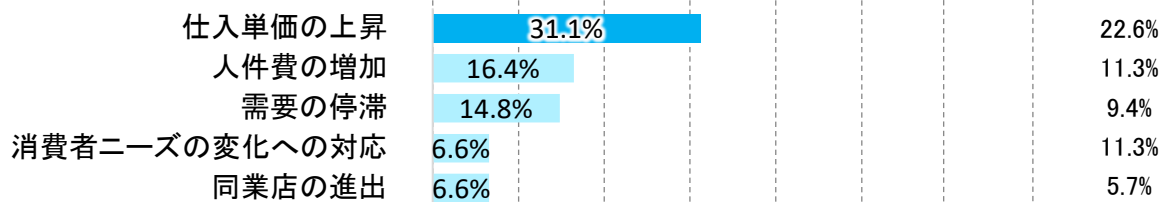
建設業



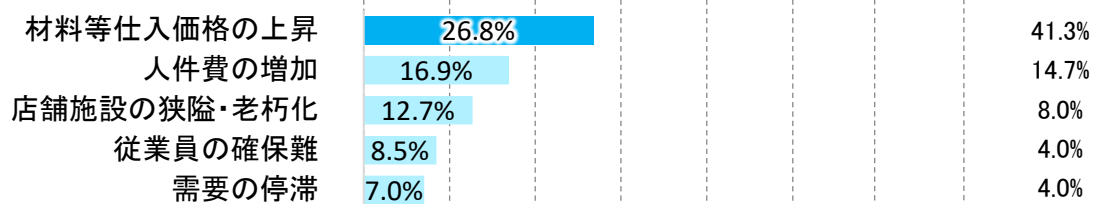
卸売業



小売業



サービス業



VI. 従業員の動向

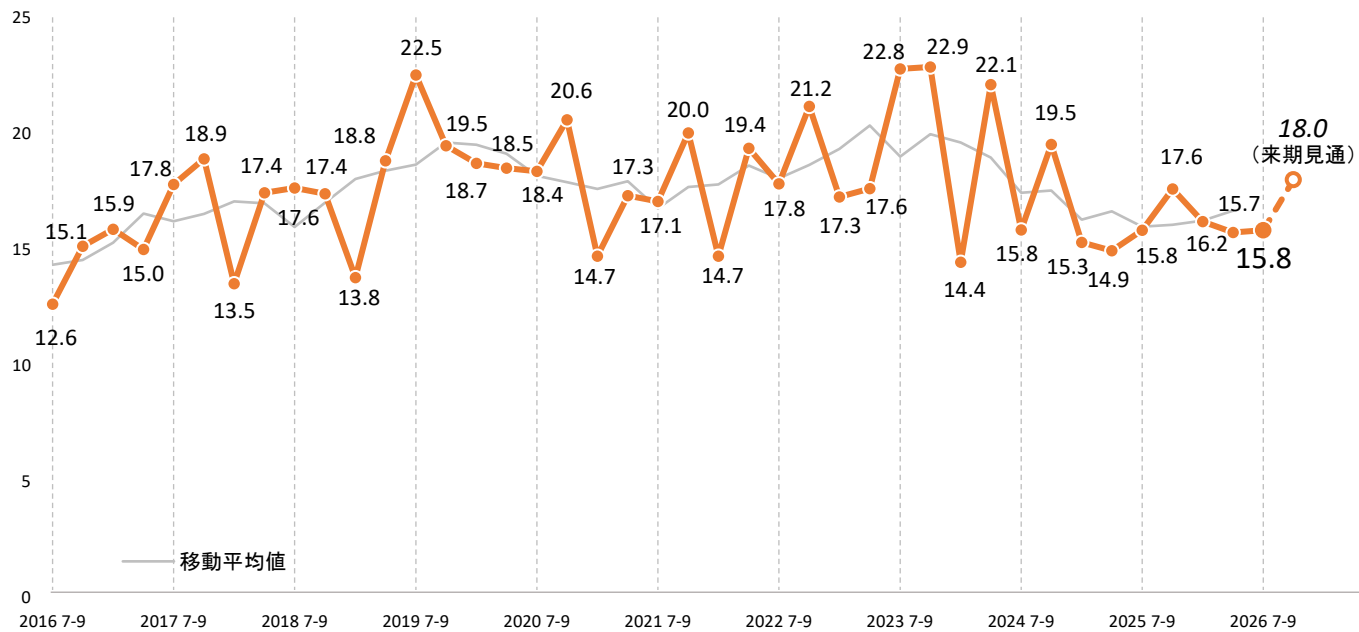
業種別D・I値

	今回	内訳				前回
全業種	▲ 29.3	1.5%	67.7%		30.8%	▲ 25.7
製造	▲ 25.5	1.8%	70.9%		27.3%	▲ 14.3
建設	▲ 46.5	1.4%	50.7%		47.9%	▲ 50.7
卸売	▲ 26.9	0.0%	73.1%		26.9%	▲ 18.5
小売	▲ 14.7	4.4%	76.5%		19.1%	▲ 12.5
サービス	▲ 32.9	0.0%	67.1%		32.9%	▲ 32.5

■ 過剰 □ 適正 ■ 不足

Ⅶ. 新規設備投資

新規設備投資実施の動向(全業種平均%)



1. 今期

	(単位%)					
	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施した	15.8	18.6	18.9	10.9	16.9	13.8
土地	17.0	9.1	28.6	16.7	0.0	30.8
工場建物、建物、店舗	11.0	0.0	7.1	16.7	8.3	23.1
生産・販売・サービス設備、建設機械	27.0	72.7	14.3	0.0	25.0	23.1
車両運搬具	36.4	27.3	50.0	33.3	25.0	46.2
倉庫・駐車場等の付帯施設	11.4	9.1	0.0	0.0	25.0	23.1
OA機器	20.7	0.0	14.3	50.0	8.3	30.8
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	8.4	9.1	0.0	0.0	25.0	7.7
実施していない	84.2	81.4	81.1	89.1	83.1	86.2

2. 来期

	(単位%)					
	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施する	18.0	25.4	18.9	12.7	8.5	24.5
土地	7.5	0.0	14.3	14.3	0.0	8.7
工場建物、建物、店舗	17.1	6.7	42.9	14.3	0.0	21.7
生産・販売・サービス設備、建設機械	36.9	53.3	28.6	14.3	66.7	21.7
車両運搬具	26.0	26.7	50.0	14.3	0.0	39.1
倉庫・駐車場等の付帯施設	12.6	33.3	0.0	0.0	16.7	13.0
OA機器	25.7	26.7	28.6	42.9	0.0	30.4
厚生施設	5.5	13.3	0.0	14.3	0.0	0.0
その他	10.1	6.7	0.0	14.3	16.7	13.0
実施しない	82.0	74.6	81.1	87.3	91.5	75.5

製造業

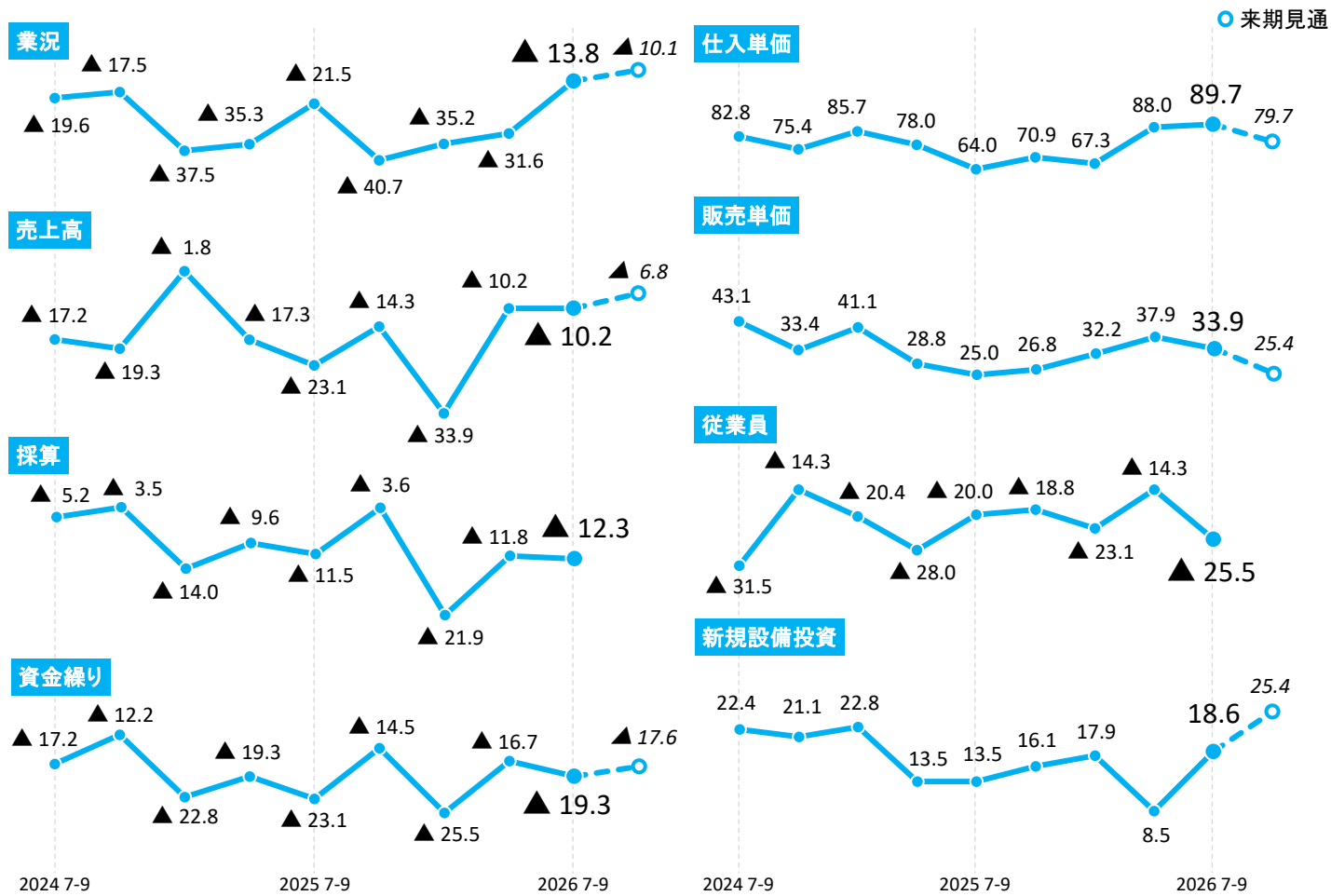
■主なコメント

- ・一時期に比べ、プラスチック容器や真空パックの調達状況は改善したものの、原材料価格の高騰により仕入価格が上昇している。催事や商談会向け商品の価格改定について、対応に苦慮している。(菓子製造)
- ・中東情勢の影響で資材価格が上昇し、一部で入手困難な製品も生じ、収益を圧迫している。価格転嫁の交渉を続けているが、原材料価格の急騰により、受注済み案件の値上げは難航している。(自動車・同付属品製造)
- ・ナフサ由来の原材料は、4～5月と比べて入荷状況が安定してきたものの、価格は依然として高止まりしている。
また、原材料不足を背景とした仮需要も落ち着きつつある。(プラスチック製品)

■D・I

	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3	2026 4-6	2026 7-9	2026 10-12(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 19.6	▲ 17.5	▲ 37.5	▲ 35.3	▲ 21.5	▲ 40.7	▲ 35.2	▲ 31.6	▲ 13.8	▲ 10.1
売上高 (前年同期比)	▲ 17.2	▲ 19.3	▲ 1.8	▲ 17.3	▲ 23.1	▲ 14.3	▲ 33.9	▲ 10.2	▲ 10.2	▲ 6.8
採算 (今期の経常損益)	▲ 5.2	▲ 3.5	▲ 14.0	▲ 9.6	▲ 11.5	▲ 3.6	▲ 21.9	▲ 11.8	▲ 12.3	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 17.2	▲ 12.2	▲ 22.8	▲ 19.3	▲ 23.1	▲ 14.5	▲ 25.5	▲ 16.7	▲ 19.3	▲ 17.6
仕入単価 (前年同期比)	82.8	75.4	85.7	78.0	64.0	70.9	67.3	88.0	89.7	79.7
販売単価 (前年同期比)	43.1	33.4	41.1	28.8	25.0	26.8	32.2	37.9	33.9	25.4
従業員 (今期の過不足)	▲ 31.5	▲ 14.3	▲ 20.4	▲ 28.0	▲ 20.0	▲ 18.8	▲ 23.1	▲ 14.3	▲ 25.5	-
新規設備投資した割合	22.4	21.1	22.8	13.5	13.5	16.1	17.9	8.5	18.6	25.4

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



建設業

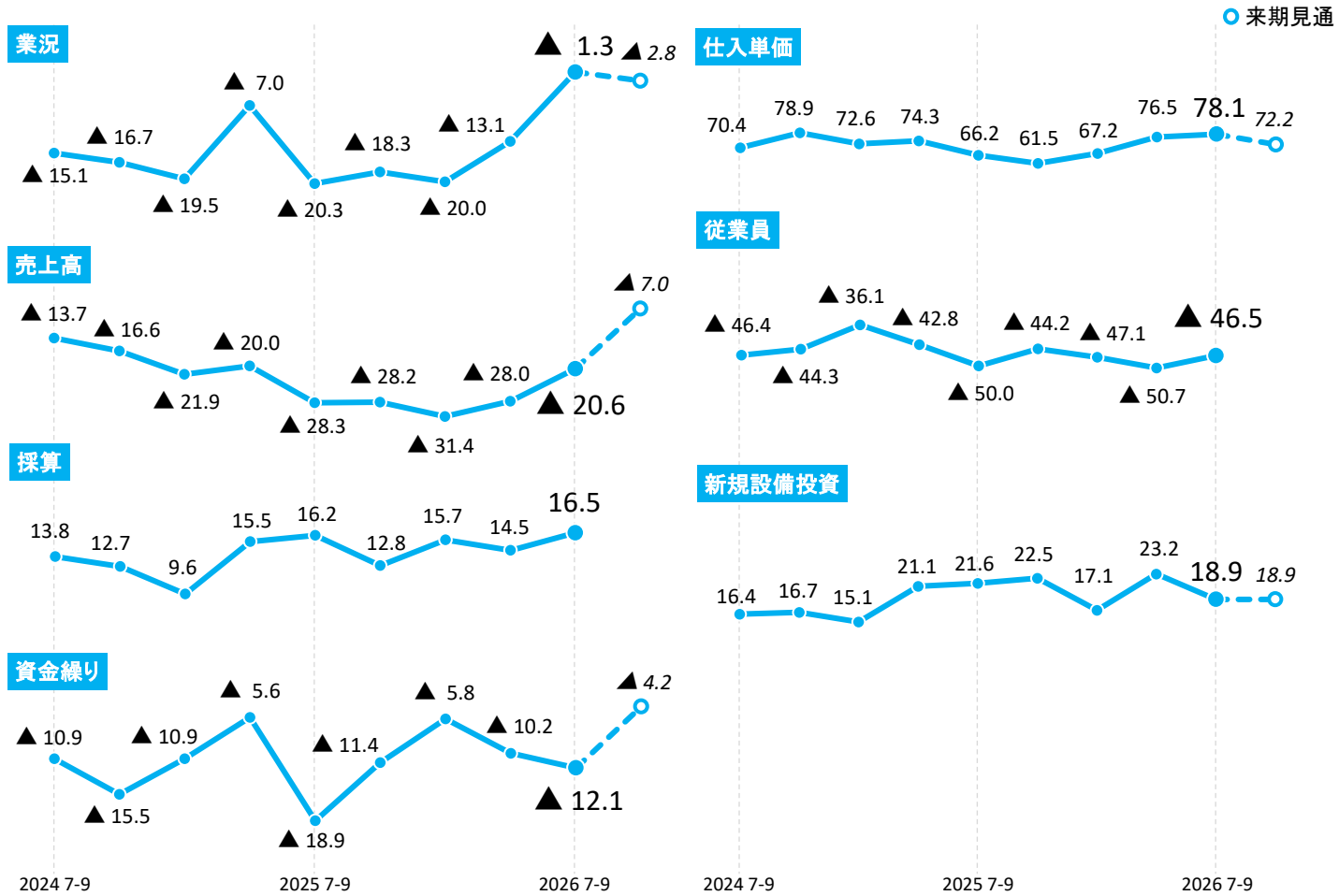
■主なコメント

- ・電材価格や燃料費、物流コストの上昇が続いている。材料費は見積りに反映しているものの、物流コストの価格転嫁は不十分である。民間工事は設備投資への慎重姿勢から受注がやや停滞している。(電気通信・信号装置工事)
- ・北海道の最低賃金について、札幌市とその他の地域で異なる水準を設定してほしい。燃料費や材料費が高騰する中、最低賃金が5%上昇すれば、経営の維持が困難となる。(土木・とび土工)
- ・公共事業において、当初の設計単価と受注後の実際の購入単価との乖離が大きく、採算確保が難しくなっている。
また、一部資材では納入の可否が見通せないものもある。(土木・建設工事)

■D・I

	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3	2026 4-6	2026 7-9	2026 10-12(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 15.1	▲ 16.7	▲ 19.5	▲ 7.0	▲ 20.3	▲ 18.3	▲ 20.0	▲ 13.1	▲ 1.3	▲ 2.8
売上高 (前年同期比)	▲ 13.7	▲ 16.6	▲ 21.9	▲ 20.0	▲ 28.3	▲ 28.2	▲ 31.4	▲ 28.0	▲ 20.6	▲ 7.0
採算 (今期の経常損益)	13.8	12.7	9.6	15.5	16.2	12.8	15.7	14.5	16.5	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 10.9	▲ 15.5	▲ 10.9	▲ 5.6	▲ 18.9	▲ 11.4	▲ 5.8	▲ 10.2	▲ 12.1	▲ 4.2
仕入単価 (前年同期比)	70.4	78.9	72.6	74.3	66.2	61.5	67.2	76.5	78.1	72.2
販売単価 (前年同期比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
従業員 (今期の過不足)	▲ 46.4	▲ 44.3	▲ 36.1	▲ 42.8	▲ 50.0	▲ 44.2	▲ 47.1	▲ 50.7	▲ 46.5	-
新規設備投資した割合	16.4	16.7	15.1	21.1	21.6	22.5	17.1	23.2	18.9	18.9

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



卸売業

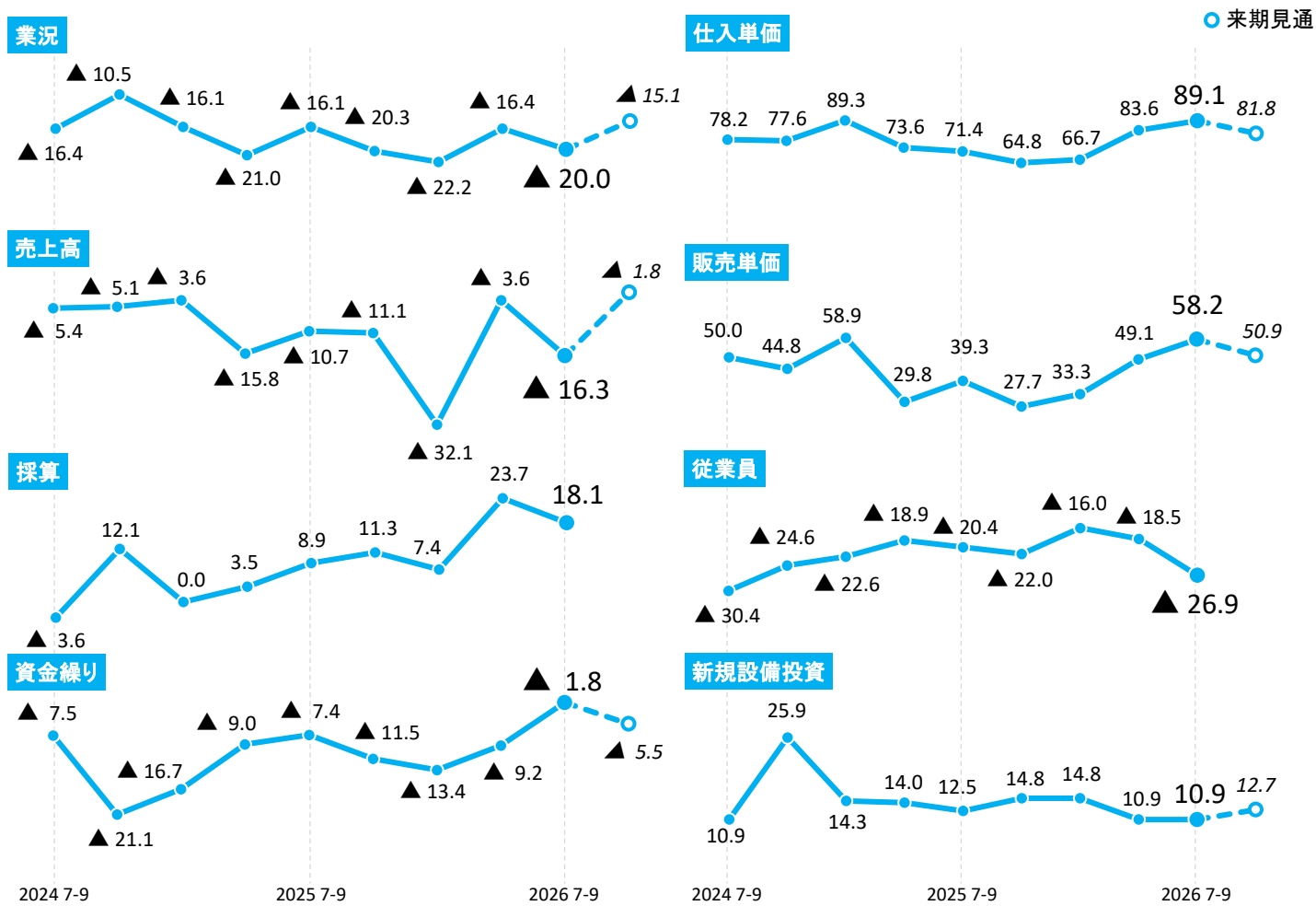
■主なコメント

- ・物価上昇の影響により、嗜好品の買い控えが顕著となっている。季節感や目新しさを取り入れた商品展開を通じて、来店促進に努めている。(食料品卸)
- ・前年に比べ業績は悪化。中東情勢の影響もあって商品の入荷に時間を要する場合がある。また、人手不足や中堅社員の退職により、従業員の年齢層がベテランと若手に二極化している。(産業機械器具卸)
- ・中東情勢の先行き不安を背景に、材料の前倒し発注が続いており、売上は前期・前々期を大幅に上回る水準で推移している。一方、顧客の在庫過多による今後の受注停滞が懸念される。(化学製品卸)

■D・I

	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3	2026 4-6	2026 7-9	2026 10-12(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 16.4	▲ 10.5	▲ 16.1	▲ 21.0	▲ 16.1	▲ 20.3	▲ 22.2	▲ 16.4	▲ 20.0	▲ 15.1
売上高 (前年同期比)	▲ 5.4	▲ 5.1	▲ 3.6	▲ 15.8	▲ 10.7	▲ 11.1	▲ 32.1	▲ 3.6	▲ 16.3	▲ 1.8
採算 (今期の経常損益)	▲ 3.6	12.1	0.0	3.5	8.9	11.3	7.4	23.7	18.1	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 7.5	▲ 21.1	▲ 16.7	▲ 9.0	▲ 7.4	▲ 11.5	▲ 13.4	▲ 9.2	▲ 1.8	▲ 5.5
仕入単価 (前年同期比)	78.2	77.6	89.3	73.6	71.4	64.8	66.7	83.6	89.1	81.8
販売単価 (前年同期比)	50.0	44.8	58.9	29.8	39.3	27.7	33.3	49.1	58.2	50.9
従業員 (今期の過不足)	▲ 30.4	▲ 24.6	▲ 22.6	▲ 18.9	▲ 20.4	▲ 22.0	▲ 16.0	▲ 18.5	▲ 26.9	-
新規設備投資した割合	10.9	25.9	14.3	14.0	12.5	14.8	14.8	10.9	10.9	12.7

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



小売業

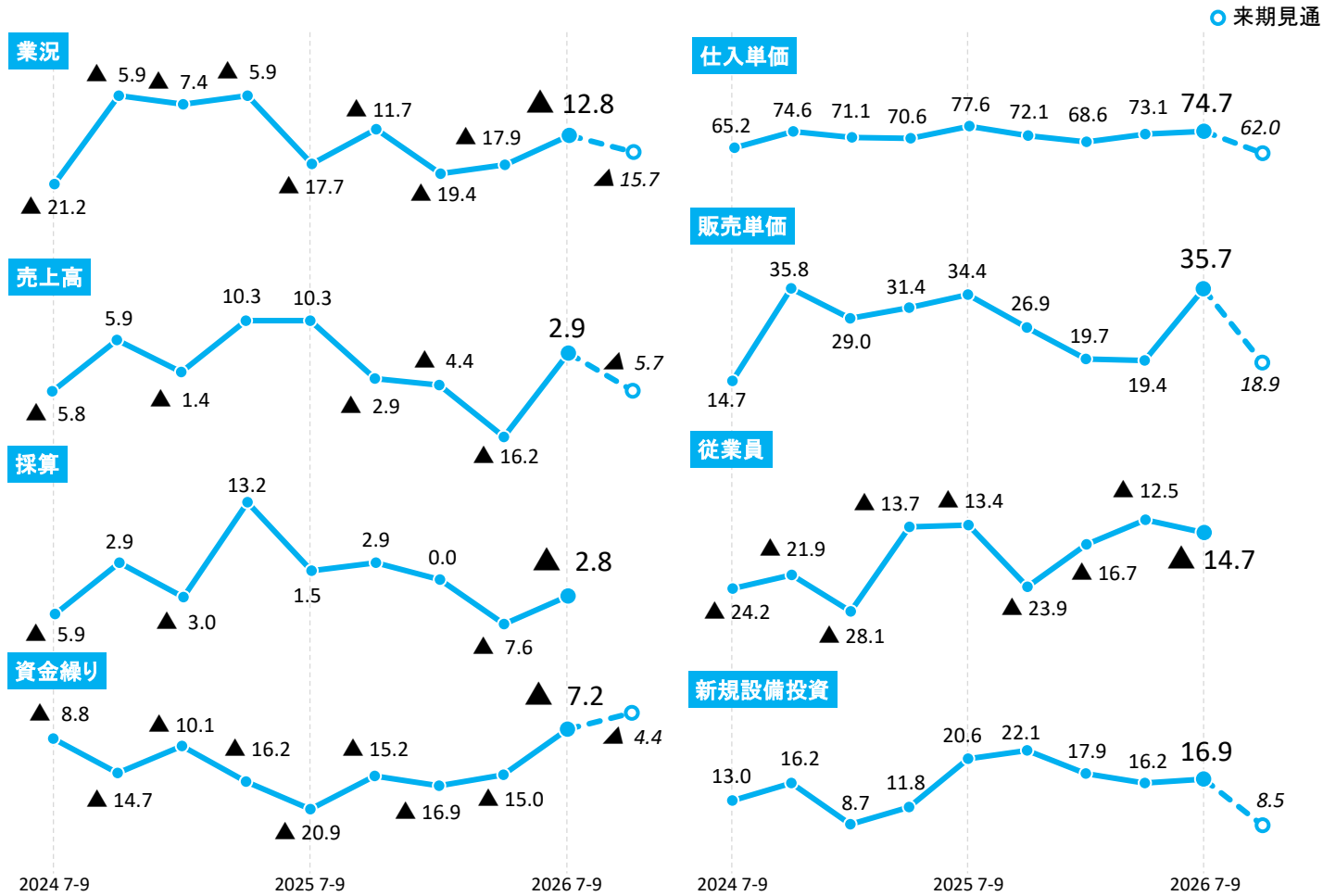
■主なコメント

- ・地価の上昇に伴い、飲食店や一般店舗の賃料も上昇傾向にあり、ラピダス関連の経済効果が波及する前に、経営体力が限界に達する事業者の増加が懸念されている。(飲食料品小売)
- ・昨年からの価格改定により売上は増加しているものの、人件費や仕入価格、資材価格の高騰により、利益は減少している。(生花小売)
- ・原材料の値上げ要請が続く一方、物価高による消費者の買い控えも見られる。消費者の購買意欲を喚起するため、引き続き効果的な支援策の実施をお願いしたい。(菓子小売)

■D・I

	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3	2026 4-6	2026 7-9	2026 10-12(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 21.2	▲ 5.9	▲ 7.4	▲ 5.9	▲ 17.7	▲ 11.7	▲ 19.4	▲ 17.9	▲ 12.8	▲ 15.7
売上高 (前年同期比)	▲ 5.8	5.9	▲ 1.4	10.3	10.3	▲ 2.9	▲ 4.4	▲ 16.2	2.9	▲ 5.7
採算 (今期の経常損益)	▲ 5.9	2.9	▲ 3.0	13.2	1.5	2.9	0.0	▲ 7.6	▲ 2.8	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 8.8	▲ 14.7	▲ 10.1	▲ 16.2	▲ 20.9	▲ 15.2	▲ 16.9	▲ 15.0	▲ 7.2	▲ 4.4
仕入単価 (前年同期比)	65.2	74.6	71.1	70.6	77.6	72.1	68.6	73.1	74.7	62.0
販売単価 (前年同期比)	14.7	35.8	29.0	31.4	34.4	26.9	19.7	19.4	35.7	18.9
従業員 (今期の過不足)	▲ 24.2	▲ 21.9	▲ 28.1	▲ 13.7	▲ 13.4	▲ 23.9	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 14.7	-
新規設備投資した割合	13.0	16.2	8.7	11.8	20.6	22.1	17.9	16.2	16.9	8.5

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



サービス業

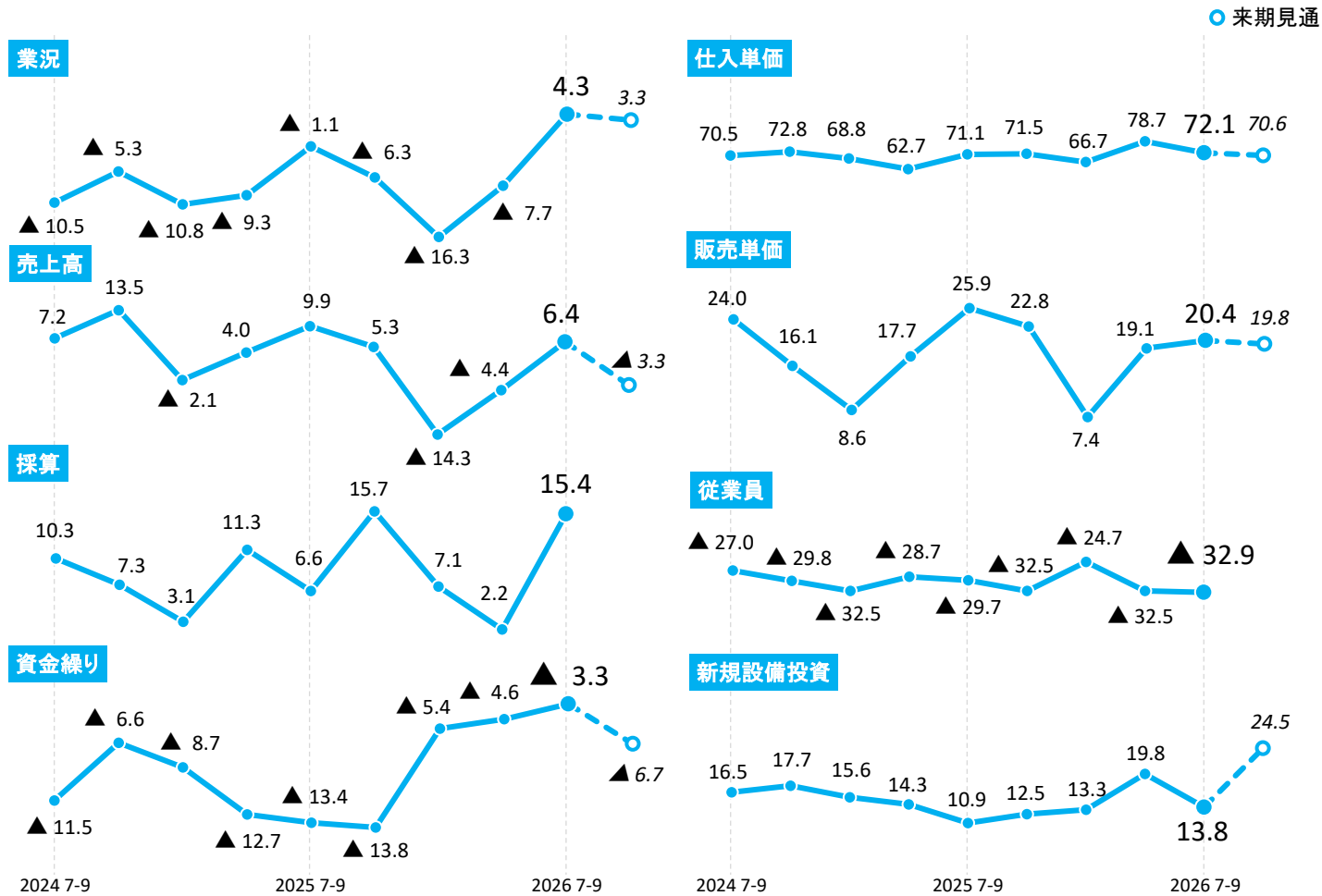
■主なコメント

- ・いわゆる「3K職種」のイメージなどから採用難が続き、人手不足が深刻化している。未経験者の早期離職も課題であり、就業環境の改善や人材育成、作業の省力化による人材定着が求められる。(清掃業)
- ・春先までは販売価格を据え置いていたため採算が悪化していたが、その後、販売単価の引上げに踏み切り、現在は物流費や原材料費の上昇分を価格転嫁できている。(その他サービス)
- ・中国政府による渡航自粛の呼びかけ等により、中国人観光客の過度な集中は緩和した。他のアジア諸国への販路開拓でリスク分散を図り、平年並みの集客と収益を維持している。(旅館業)

■D・I

	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3	2026 4-6	2026 7-9	2026 10-12(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 10.5	▲ 5.3	▲ 10.8	▲ 9.3	▲ 1.1	▲ 6.3	▲ 16.3	▲ 7.7	4.3	3.3
売上高 (前年同期比)	7.2	13.5	▲ 2.1	4.0	9.9	5.3	▲ 14.3	▲ 4.4	6.4	▲ 3.3
採算 (今期の経常損益)	10.3	7.3	3.1	11.3	6.6	15.7	7.1	2.2	15.4	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 11.5	▲ 6.6	▲ 8.7	▲ 12.7	▲ 13.4	▲ 13.8	▲ 5.4	▲ 4.6	▲ 3.3	▲ 6.7
仕入単価 (前年同期比)	70.5	72.8	68.8	62.7	71.1	71.5	66.7	78.7	72.1	70.6
販売単価 (前年同期比)	24.0	16.1	8.6	17.7	25.9	22.8	7.4	19.1	20.4	19.8
従業員 (今期の過不足)	▲ 27.0	▲ 29.8	▲ 32.5	▲ 28.7	▲ 29.7	▲ 32.5	▲ 24.7	▲ 32.5	▲ 32.9	-
新規設備投資した割合	16.5	17.7	15.6	14.3	10.9	12.5	13.3	19.8	13.8	24.5

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



VIII. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点2026年9月
- (2) 調査対象期間2026年7～9月期実績及び2026年10～12月期見通し

2. 調査対象

- (1) 中小企業景況調査
「製造業」、「建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、
「卸売業」については、資本金1億円以下、または従業員100人以下の企業、
「小売業」については、資本金5千万円以下、または従業員50人以下の企業、
「サービス業」については、資本金5千万円以下、または従業員100人以下の企業を対象とした。
- (2) 業界動向調査
道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。
また、各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施(中小企業景況調査)
全道商工会議所を通じて地域の業界・組合等へヒアリング調査を実施(業界動向調査)

4. 業種別・規模別回答状況(社数)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合 計
小規模	45	59	39	58	70	271
中規模	14	15	16	13	24	82
合 計	59	74	55	71	94	353
構成比	16.7%	21.0%	15.6%	20.1%	26.6%	100.0%

〈業界動向調査〉
ヒアリング先
製造業 40社、建設業 34社、卸売業 23社、
小売業 29社、サービス業 44社 合計 170社

■過去の調査結果はコチラ



【URL】 <https://www.hokkaido.cci.or.jp/demand/research/>

D・Iとは…

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)企業割合を差引いた値(景気動向指数)を示す。